

教育研究上の基礎的な情報等

「令和 7 年度 国際交流・社会貢献等」

7. 国際交流

令和 5 年度に発足した国際交流委員会の活動に基づき、令和 7 年度は「双方向の学生交流」及び「国際ネットワークの拡大」において飛躍的な進展を見た。

これまでに締結したタイのマヒドン大学、チェンマイ大学、インドネシアのハサヌディン大学との交流協定に基づき、今年度はマヒドン大学より作業療法学科の学生 2 名を受け入れた。また、本学初となる海外派遣として、作業療法学専攻の 3 年生 2 名を同大学へ派遣した。これにより、多職種連携教育（IPE）の体験や専門性の国際的理解、異文化間での視点共有といった交流目的を具現化する教育機会を実現させた。

さらに、令和 7 年度（2025 年度）には、新たに台湾の中山医学大学と国際交流協定（MOU）を令和 8 年 1 月に締結した。これに伴い、同年 3 月には言語聴覚学専攻の学生 2 名を同大学へ派遣し、新たな専門領域における国際交流の足掛かりを築いた。これらの実績により、リハビリテーション専門職養成における国際的な教育・研究基盤をより強固なものとした。

10. 社会貢献

「卒業率を上げ、国家試験全員合格を果たし、就職率 100%を継続させ、優秀な医療人を社会に送り出す」ことが社会貢献の第一義であるが、さらに以下の項目の継続、実施に努めた。

10-1. 地域医療やリハビリテーション、介護予防等に関する知の拠点の確立

本学のこれまでの教育・研究・社会貢献事業を、貝塚市を中心に大阪府南部から和歌山県北部の地域に広げ、知の中核拠点としての役割を果たしてきた。また、河崎グループとの連携をより一層強化し、少子高齢化等の社会的課題に対応するネットワークの構築に努めた。

10-2. 社会貢献活動（公開講座等）の実施

「地域の子育て支援」「阪和地域リハビリテーション研究会」「公開講座」「出前授業」などの取り組みを継続して実施した。また本学の特色を活かし、貝塚市並びに地域の企業と連携した「認知症予防プロジェクト」を継続した。

令和 7 年度 「貝塚市民図書館 出前講座」 場所：貝塚市民図書館視聴覚室

	月日	タイトル	参加人数
1	7 月 30 日	ゲームの中でバランスを鍛えよう (こども療育支援室)	14 人
2	8 月 8 日	障がい者スポーツ (ボッチャ) を体験しよう (作業療法学専攻 教授 中松俊介)	4 人
3	9 月 10 日	アイロンビーズで作業療法を体験しよう (作業療法学専攻 講師 水野貴子)	7 人

10-3. 地域及び高等学校との連携強化

「大学間連携」「地域連携」等などの取り組みを継続して推進するとともに、地方自治体との連携に努めた。また、高等学校との連携事業を実施し、高大接続の充実を図った。

(1) 貝塚市との連携

貝塚市と連携し、市民対象の認知症予防プログラムやこども療育支援室による公開講座や委託事業を継続的に実施した。また、既存の連携体制を基盤として、大阪・関西万博において産官学連携共創チャレンジモデル事業にも取り組んだ。

令和 7 年度 「つげさん元気アップ教室」(貝塚市) 実績

	月日	内容・場所	参加人数
1	12 月 19 日	事前説明会・コスモシアター小ホール	91 人
2	1 月 9 日	事前検査・コスモシアター小ホール	
3	1 月 15 日 ～3 月 19 日	教室(10 回)・コスモシアター小ホール	
4	3 月 27 日	事後検査・コスモシアター小ホール	

令和 7 年度 貝塚市主催等のイベント参加・協力（「大阪・関西万博」関連を含む。）

	月日	場所	担当教員
1	7 月 31 日 9 月 8 日	大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン リボーンステージ ・記念講演会 「人生百年時代」「認知症の人との共生社会」「認知症予防とリハビリテーション医療」 ・水なすを活用した機能性食品の開発を目指す取り組み	武田・中村・今岡・ 村上・宇都宮・ 河野・塚本・高橋



2	9月21日	かいづかまちごと万博（府営二色の浜公園） 握力測定、レザークラフト体験 等	今岡・岸村
3	12月7日	健康かいづかフェスティバル	今岡・村上・岸村・ 武井・高橋・河野
4	2月11日	貝塚まるっと笑顔フェスタ こどもの身体健康測定	中村・峰久・今岡・ 岡・野村・松尾

令和7年度 こども療育支援室による公開講座実績（オンライン実施）

	月日	テーマ	講師	参加者数
1	3月21日	身体感覚から捉え直す子どものケア	大阪公立大学 弘田陽介 先生	60人

(2) 高等学校との連携

令和6年度に引き続き、精華高等学校からの依頼に応じて、「総合的な探求の時間」において本学教員による授業を実施した。また、新たに和歌山県立熊野高等学校専攻科と3年次編入学に関する連携協定を締結し、高大接続の強化を図った。

令和7年度 精華高等学校（スポーツ&アートコース）総合的な探求の授業派遣実績

	月日	内容	場所	担当教職員
1	4月19日	目的にあったストレッチングを実践してみよう	本学（3号館3階 機能訓練室）	佐伯
2	5月17日	レザークラフトを体験しよう	本学（3号館5階 多機能実習室）	岸村
3	5月31日	脳のしくみ	本学（1号館4F 小講義室）	塚本
4	6月21日	クリケット体験をしてみよう	本学（河崎記念講堂）	今岡
5	8月30日	コミュ力上がる!? 社会交流スキルの磨き方	本学（1号館4F 小講義室）	中越
6	9月6日	食えること、飲み込むことについて考えよう～言語聴覚士の仕事のこと～	本学（1号館4F 小講義室）	芦塚
7	9月20日	大学の学園祭を体験しよう！	本学	事務局
8	10月4日	食品研究体験 大阪関西万博に出展した研究に関連する化学実験を体験しながら食品栄養について学ぼう	本学（1号館3階 第2中講義室）	河野
9	10月18日	マママからはじまることば～子どもの言語獲得～	精華高校	高橋
10	11月1日	身体の一部に障害があると、日常生活はどう変わるのか？	本学（1号館3階 第1中講義室）	肥田
11	11月15日	言語聴覚士が伝えたいコミュニケーションと心理学の実践	精華高校	和田
12	12月6日	年齢を重ねることによるからだの変化～高齢者疑似体験を通じた演習～	本学（3号館5階 多機能実習室、ADL室）	上島



13	1月17日	大学の庭でオリエンテーリング ～普段は気づかない自然に目を向けて みよう～	本学(生理学実習室)	川村
14	1月31日	手を動かすと心も動く?～作業でリハ ビリの不思議を体験しよう～	本学(3号館5階 多機能実習室)	増澤
15	2月7日	障がい者スポーツと地域共生社会	本学(3号館3階機能 訓練室)	村上

(3) 出前授業

「地域で役立つリハビリテーション」をテーマとした「出前授業」を実施し、本学の知識・技術を活かした地域貢献に取り組んだ。令和7年度は、高等学校を対象に実施した。

令和7年度 出前講座実績

	月日	テーマ	依頼元	参加者数
1	8月25日	リハビリテーションで学ぶ1 苦手をチャンスに変える方法	天王寺学館高等学校	55人
2	9月11日	障害体験から学ぶリハビリテーション 心が繋がるプレゼント作りという作業療 法	日根野高校	39人
3	12月11日	モルック体験	咲くやこの花高等学校	16人

(4) 大学開放事業の実施

本学にある施設・設備を無料で開放することにより、市民の学習・研究を支援し、地域貢献に寄与することを目的に「地域交流推進開放事業」「市民の学習・研究支援事業」「スポーツ施設開放事業」の3事業を展開した。

令和7年度 障害児療育に関する特別支援学校、保健所等への支援

	月日	対象	場所	参加者数
1	6月18日～20日・23日 10月22日～24日・27日	大阪府立佐野支援学校	本学	28人

令和7年度「関西クリケット協会」共催 市民の学習・研究支援事業

	月日	内容	場所
1	5月18日	ビーチスポーツフェスティバル	府営二色の浜公園
2	8月17日～ 23日(計4回)	クリケットであそぼう! クリケットブラストシリーズin 貝塚	貝塚市立総合体育館
3	10月22日・24日	クリケット体験	貝塚市青少年広場
4	10月26日 11月4日	クリケットスポーツ体験	貝塚高校



(5) 和歌山サテライトの開放事業

	月日	内容
1	8月17日 10月19日	昭和レトロなみその商店街 みそのマルシェ
2	12月14日 3月1日	カイロスロケット打ち上げPVイベント

10-4. 臨床実習指導者講習会の実施

令和7年度に本学主催で開催した、臨床実習指導者講習会は以下のとおり。

令和7年度 臨床実習指導者講習会 本学主催開催実績

区分	期日	計画校	修了者数
PT・OT 合同	9月6日(土)・7日(日)	大阪河崎リハビリテーション大学	41人
ST	7月26日(土)・27(日)	大阪河崎リハビリテーション大学	96人

10-5. 聴講生制度・科目等履修生制度の実施

社会貢献活動の一環として、聴講生制度・科目等履修生制度を継続して実施した。

また、令和6年度後期に続き、令和7年度には科目等履修生として、後期から2人の入学者があった。

「令和7（2025）年度事業報告書」抜粋